

Ⅱ.道と市町村の総力で挑む北海道の未来づくり

「北海道創生総合戦略(地域戦略)」の推進

北海道創生総合戦略の位置づけ

○「北海道創生総合戦略」は、北海道の創生に向けた今後5か年の政策目標、施策の基本的方向及び主な施策を、重点戦略プロジェクト、基本戦略及び地域戦略として提示しています。

地域戦略について

○地域戦略では、道内各地域の特性や資源を活かした取組を進めるために振興局が中心となって推進すべき政策の基本方向や主な施策について、次のとおり提示しています。

振興局内の様々なエリアにおける施策展開	
空知地域	炭鉱(やま)の記憶やワインなどの地域資源を活用した多様なタイプの交流の促進 など
石狩地域	若い世代の結婚・子育てに関するポジティブ・マインドの形成など少子化対策の加速 など
後志地域	多彩な地域資源を活用した国際観光リゾートエリアの形成 など
胆振地域	世界の課題に応える産業拠点の形成促進と雇用の創出 など
日高地域	「ひだか」地域を支える農林水産業の振興 など
渡島地域	北海道新幹線開業効果を最大限に発揮した交流人口の拡大 など
檜山地域	「日本海漁業振興基本方針」に基づく漁業の活性化など農林水産業の振興 など
上川地域	天塩川や大雪山など魅力ある地域資源を活かした上川地域への来訪促進 など
留萌地域	南北に細長く自然条件に応じて展開される多彩な農林水産業の振興と雇用の創出 など
宗谷地域	サハリン州との交流や離島などの地域の特色を活かした観光の促進 など
ホクツ地域	国内外への販路拡大などによる農林水産業の強化 など
十勝地域	「食の総合産業化」の推進による地域産業の振興 など
釧路地域	「根釧酪農ビジョン」の実現に向けた具体的取組の展開 など
根室地域	子育て支援の充実など少子高齢社会への対応 など

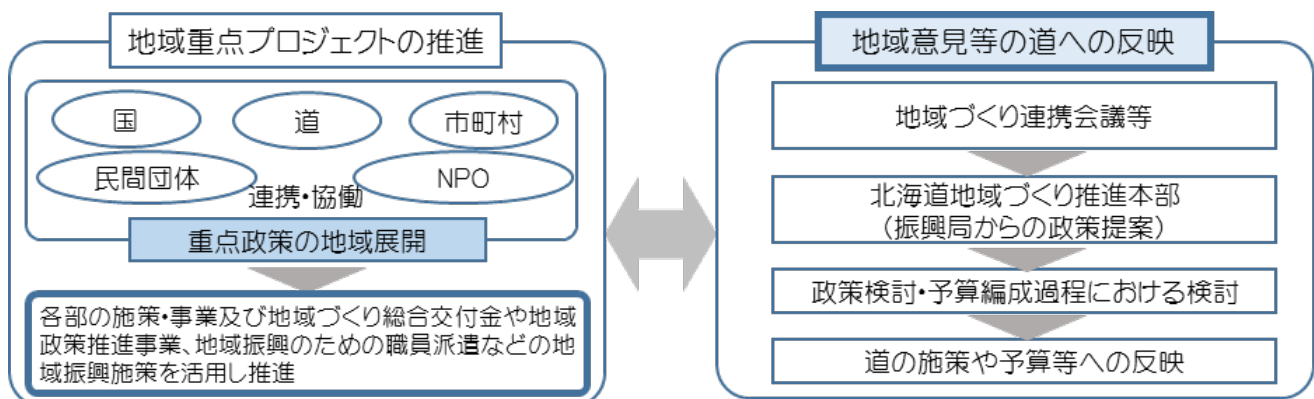
○また、上記のほか、地域特性を活かしたスポーツ合宿適地としてのブランド化の推進など、振興局を超えた広域連携による施策の展開についても提示しています。

「連携地域別政策展開方針」の推進と地域の意見等の反映

「連携地域別政策展開方針」の位置づけなど

- 「連携地域別政策展開方針」は、北海道地域振興条例に基づき、総合計画の政策の基本的方向に沿って、広域的な地域の区分ごとに地域振興を効果的に推進するための「地域計画」です。
- 方針については、市町村をはじめとした地域の関係者などが参画する「地域づくり連携会議」などを活用し、北海道創生総合戦略(地域戦略)や特定分野別計画と連携しながら推進していきます。

[連携地域別政策展開方針の推進方法]



地域意見の反映

○道民の皆様や市町村などから意見等を伺いながら、振興局が地域重点プロジェクトの推進や地域課題の解決に向けて「政策提案」を取りまとめ、知事を本部長とする「北海道地域づくり推進本部」に提案し、全庁横断的な調整を行いながら、道の政策や予算への反映を図っています。

【振興局の主な提案(要旨)と各部施策への反映】

重点政策[展開方向、政策の体系]		振興局の主な政策提案(要旨)		各部施策への反映	
安心のまち・暮らし「住まいる北海道」づくり	結婚や出産、子育ての希望をかなえる環境づくり	【石狩】子育て環境の充実強化	保福	結婚、妊娠・出産、子育て、自立の各ライフステージに応じた切れ目のない施策を強化、一体的に展開し、少子化対策の一層の加速化を図る。	
	コンパクトなまちづくりの推進	【留萌】民間住宅に関する情報交換サイトの拡充と市町村との相談窓口の設置	建設	北海道の住まいのポータルサイト等の充実	
	北海道らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す	【十勝】学びを活かした移住・定住の促進～人生を豊かにする学びの場の充実～ 【釧路】移住・定住の促進に向けた取組の強化	総政	移住メニューや人材育成について情報提供 移住・定住に必要な情報について「北海道ふるさと移住定住推進センター」の情報提供機能を活用	
より良き未来への挑戦	地域・未来を担う人づくり	【空知】産業人材の地元定着を図るとともに、広く札幌圏や首都圏・関西圏から呼び込む	経済	道内企業の求人情報などをインターネットや道外就職相談会等において情報を提供	
	次代を創る農林水産業の確立	【宗谷】後継者確保のための「スマート酪農」の推進	農政	地域の営農システムへの戦略的なスマート農業技術の導入を推進	
		【檜山ほか】日本海漁業振興対策の推進	水林	日本海漁業振興に必要な支援を実施	
		【釧根】「根釧酪農ビジョン」の推進に向けた地域の取組強化について	経済	食に携わる人材育成など食と観光との連携の取組を実施	
	観光受入体制の充実強化	【上川】道産食品の輸出拡大と輸出コスト削減への支援	経済	シンガポールやタイでの道産品のアンテナショップを活用した商品づくりを支援	
		【上川】観光客受入体制の整備とフードツーリズム推進への支援	総政	道内空港のグランドハンドリング体制強化に向けた取組を実施	
	新幹線開業効果の拡大	【渡・檜】来訪客の「リピーター」促進	経済	観光関係者の資質向上のための研修事業を実施	
		【宗谷】「食」「離島」「国境」をテーマとした魅力ある広域観光の促進	総政	新幹線開業効果を波及させるため航空路線の利便性向上に向けた取組を実施	
企業・人材の誘致の推進	【石狩】若者の地元定着促進・就業機会の拡大	経済	本道の立地優位性を活かした企業誘致の取組と雇用の受け皿づくり		
	【渡島】地域での創業支援	経済	首都圏IT関連企業のサテライトオフィス誘致等の取組を実施		
人を大事に人を育てる	地域力を高める教育の充実	【十勝】魅力ある教育環境の整備～生きる力を地域で育む学びの場の充実～	教育	農業高校での出前講座や農家実習の実施	
暮らしをまもり地域を創る	経済雇用を支える「地域産業力」の底上げ	【上川】地域産業の担い手の確保・育成への支援 【オホ】オホーツクの農林水産物を活かした地域産業の活性化	経済	地域における事業承継等の支援に向けた体制構築 食の磨き上げや食に携わる人材を育成	
	アジアの環境首都を目指す北海道づくり	【オ・根】交流人口の増加を目的とした「知床世界自然遺産」関連事業の実施	環生	地元自治体や観光協会等と連携し機運醸成や魅力発信の取組を実施	
価値を高め人を呼び込む	「世界の中の北海道」の視点を持った国際化の推進	【宗ほか】日ロフェリーを活用したサハリンとの物流・人流の一層の拡大	経済	「北海道経済交流支援センター」等を通じ道産食品等の輸出拡大を支援	
	世界が憧れる観光立国北海道のさらなる推進	【オホ】オホーツクの農林水産物を活かした地域産業の活性化	経済	食の磨き上げや食に携わる人材を育成	
	ふるさとの歴史・文化の保全と継承	【空知】日本の近代化に貢献した北海道の産業構造など歴史を活かした“魅力づくり”	総政	関連事業との連携	
道と市町村の総力で挑む北海道の未来づくり	【石狩】振興局における地方創生推進体制の充実強化 【空知他】地域づくり総合交付金の充実等	総政	機動的な事業展開ができるよう政策予算を充実 地方創生に向けた各部門の一体的な取組を実施		

「地域づくりの拠点」としての振興局の取組

- 「地域づくりの拠点」である各総合振興局・振興局は、それぞれの地域の特性や実情に即して、地域課題等に対応する独自の組織体制の整備、地域の創意と主体性を活かした取組を加速する「地域づくり総合交付金」、個性ある地域づくりを推進する「振興局独自事業」、道と市町村が緊密に連携して地域振興などを推進するための職員派遣制度など、様々な地域振興施策やマンパワーを最大限に活用し、市町村や地域の方々と一体となって、地域に根ざした取組を進めています。

～「振興局独自事業」による地域の主な取組～

空知

- ・ワインや産業遺産などの地域資源を活用した観光・まちづくりの取組
- ・居住しやすい環境など地域の特性を活かした産業人材の確保と移住定住の促進

石狩

- ・少子化対策のための若者の意識醸成や家庭と仕事の両立支援などを推進
- ・タイを主なターゲットとしたプロモーションの実施等による交流人口の拡大

後志

- ・北海道新幹線開業等を活用した東北・北関東圏等との交流人口の拡大
- ・後志と西胆振地域の外国人観光客受入への対応力向上による広域観光の推進

胆振

- ・いぶりの特色や強みを活かした観光資源の磨き上げ、効果的な魅力発信
- ・多彩な食や優れた技術力により開発した製品等の道内外へのPR・販路拡大

日高

- ・日高元気づくり会議による日高創生プレイヤーの創出
- ・日高地域の魅力がうまれる「食と観光」プログラムの開発

渡島

- ・新幹線開業効果を活かしたアクションプランの推進による交流人口の拡大
- ・リピーター客獲得に向けた人材育成や冬季観光など商品企画力の強化・充実

上川

- ・天塩川や大雪山をテーマとした地域の魅力の発信等による交流人口の拡大
- ・木質バイオマス安定供給の促進や、地域材の利用拡大に向けた取組を推進

檜山

- ・新幹線開業を活かした檜山地域の食・観光資源の各種プロモーション等の実施
- ・檜山地域の水産業の活性化を図るため鮮度保持技術の開発、製品開発等を実施

留萌

- ・歴史・産業遺産や良質な自然・食の魅力の再構築と発信による誘客促進
- ・高齢化や健康志向に対応した健康産業の振興や薬用作物産地化の取組の推進

宗谷

- ・若年層のUIターン対策など地域の魅力を活かした移住・定住対策の推進
- ・ロシア連邦サハリン州並びに台湾及び香港との経済交流の促進

オホーツク

- ・豊かな資源を活用した体験型・滞在型観光の促進による交流人口の拡大
- ・地元産農畜産物を原材料に使用した菓子開発による魅力発信と産業活性化

十勝

- ・十勝の「食」ブランド向上に向けた取組や観光プロモーション等の展開
- ・十勝で活躍する女性のロールモデルの輩出やネットワークづくりへの支援

釧路

- ・「根釧酪農ビジョン」に基づく酪農の生産基盤の強化に向けた総合対策の実施
- ・道東自動車道の釧路延伸を契機としたプロモーション活動の実施と魅力発信

根室

- ・地域のつながりの復活や地域住民の参加を通じた子育て環境の整備促進
- ・豊かな自然環境、地域の産業・文化などと調和した観光地づくりの推進

地域の魅力を活かした特色ある地域づくりの推進

道職員の市町村への職員派遣

- 道では、「北海道地域振興条例」の趣旨を踏まえ、市町村との連携による地域振興などを進めるため、道職員の市町村への派遣を積極的に推進しています。
- 従来からの「自治法派遣」や「地域振興派遣」、「徴収対策連携派遣」に加え、平成28年度から地方創生の推進など市町村のニーズに柔軟に対応する「地域振興短期派遣」の運用を開始するなど、地域ニーズを踏まえて職員派遣制度を充実し、市町村等と連携・協働した取組の強化を図っています。
 - ・地域振興派遣 平成28年度 40市町村（うち21市町村は前年度から継続）
 - ・徴収対策連携派遣 平成28年度 6団体（うち5団体は前年度から継続）

集落対策の促進

- 道内の集落では、全道を上回るスピードで人口減少や高齢化が進行しており、住民同士の助け合いやコミュニティ活動などが困難となってきています。
- そのため、市町村や住民の主体的な取組の促進を図ることを目的に、平成25年3月に策定した「北海道における集落対策の方向性」に基づき、集落対策に取り組む市町村のサポートをはじめ、集落を支える人材の育成、集落問題に関する研究、困りごとを気軽に相談できるサロンや集落間の交流を深める場づくりに取り組んでいます。
- さらに、平成25年度から2年間の集中対策期間で取り組んだ、集落総合対策モデル事業の成果や、新たなビジネスの起業、生活支援に関する取組を幅広く普及・発信し、集落対策の取組の各地域への定着を目指していきます。

移住・定住の促進

- 本道への移住・定住を促進するため、移住希望者が必要とする「しごと」「住まい」などの情報収集・発信を行うとともに、来年度は、移住相談窓口である「北海道ふるさと移住定住推進センター」を東京に設置するほか、移住施策を加速させる専門的人材をNPO法人住んでみたい北海道推進会議に配置し、民間や市町村と連携して移住・定住のより一層の促進に努めます。
- また、広域的な地域協力活動を行うため、「地域づくりサポート隊」を空知・後志の両振興局に配置し、市町村の地域おこし協力隊の活動が円滑に進むよう、研修会の開催などを行います。

多様な地域間連携の促進

北海道型地域自律圏の形成

- 全国を上回るスピードで人口減少や少子高齢化が進展し、また小規模自治体が多い本道では、今後も住民へ多様な行政サービスを継続的に提供できるよう、市町村による広域的な連携を促進していく必要があります。
- そのため、定住自立圏構想など多様な広域連携制度の一層の活用を図るほか、本道の特性を踏まえた道独自の市町村連携の取組を推進するとともに、振興局と市町村が一体となった連携に向けた取組をモデル的に進めます。

新たな仕組みによる連携・相互補完の強化

- 各地域が有する自然環境、農林水産物などの様々な地域資源の効果的な活用や災害時をはじめとする各種の地域課題の解決などを図るため、より広域かつ多目的な市町村間の連携を行う「包括交流連携」や、平成25年度から札幌市が積極的に実施している札幌市と道・道内市町村との連携促進に向けた取組への支援など、地域相互の連携及び相互補完を強めていく取組を進めます。

東日本大震災被災地等との連携の促進

- 東日本大震災の発生から約5年が経過し、避難生活の長期化に伴い、避難されている方々が抱える悩みや課題が時間の経過とともに多様化、個別化してきています。
- 避難されている方が安心して避難生活を送ることができるよう、心のケアに繋がる情報提供や、孤立化が懸念される方への戸別訪問を行うなど、道内市町村や支援団体などと連携を図りながら、引き続き支援の取組を進めます。

